

令和元年度 第1回 市川市自立支援協議会

日 時：令和元年5月30日（木）
午後1時30分～3時30分

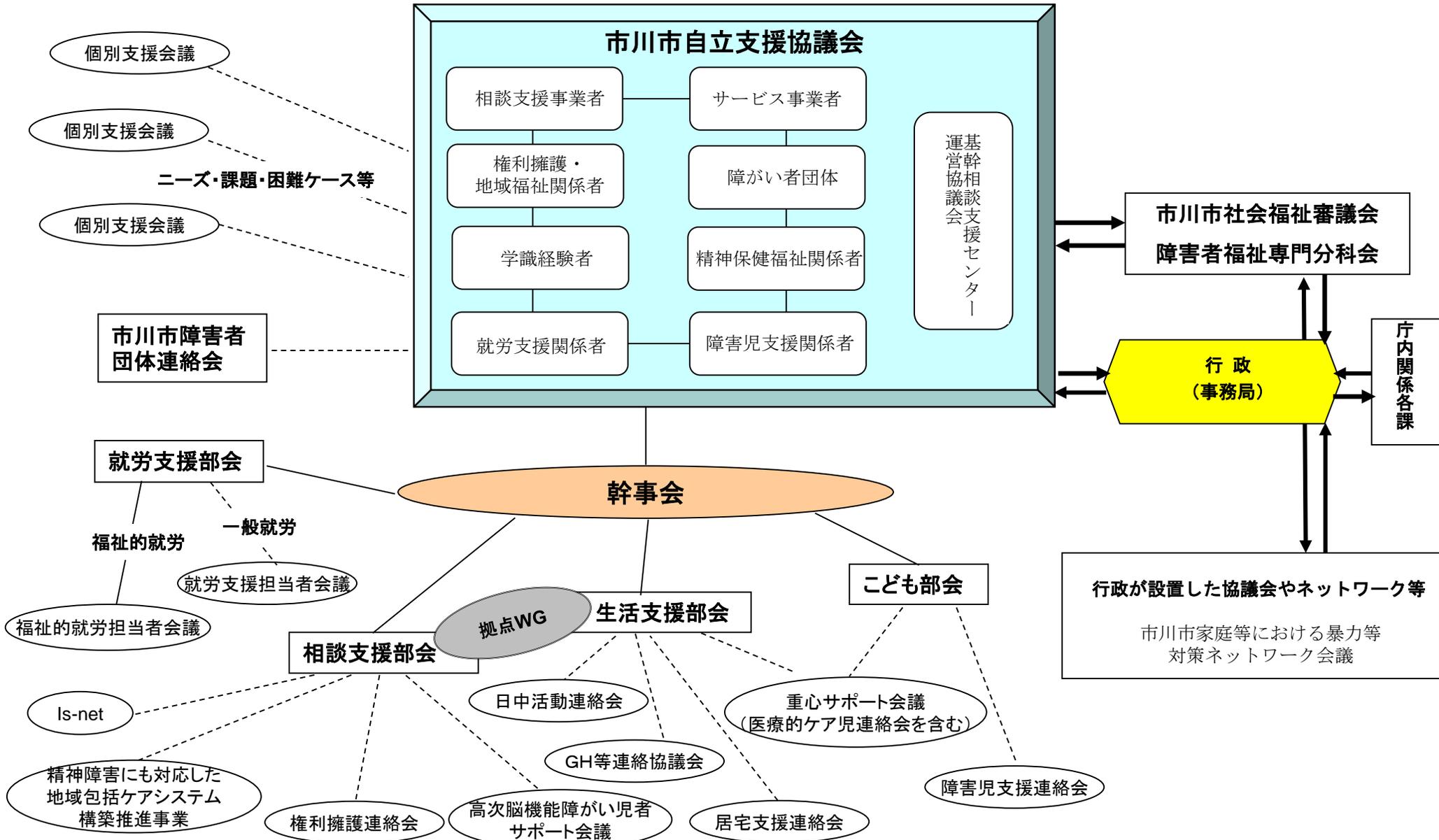
場 所：急病診療・ふれあいセンター
2階 第2集会室

会 議 次 第

- 1 開会
- 2 連絡・報告事項
- 3 各専門部会・障害者団体連絡会の状況について
- 4 地域生活支援拠点等について
- 5 人材確保に向けた自立支援協議会の取組について
- 6 閉会

市川市自立支援協議会の関係図(令和元年度)

資料1-1



市川市自立支援協議会 委員名簿(令和元年度)

	委員氏名	団体名	委員分類
1	朝比奈 ミカ	中核地域生活支援センター がじゅまる	相談支援事業者
2	長坂 昌宗	基幹相談支援センター えくる	相談支援事業者
3	松尾 明子	基幹相談支援センター えくる	相談支援事業者
4	近藤 薫	社会福祉法人南台五光福祉協会 やまぶき園	相談支援事業者
5	内野 智美	一般財団法人市川市福祉公社	相談支援事業者
6	圓山 祐生	社会福祉法人佑啓会 市川市そよかぜキッズ	相談支援事業者
7	水野 庸子	一般財団法人市川市福祉公社	サービス事業者(訪問系)
8	森田 美智子	社会福祉法人いちばん星	サービス事業者(日中活動系)
9	武田 陽一	社会福祉法人市川レンコンの会	サービス事業者(居住系)
10	磯部 利江子	社会福祉法人一路会	サービス事業者(地域生活支援事業)
11	永井 洋至	アクトレゾナンス合同会社	サービス事業者(地域生活支援事業)
12	小原 邦子	千葉県市川健康福祉センター	精神保健福祉関係者
13	高木 憲司	和洋女子大学	学識経験者
14	西村 拓士	障害者就業・生活支援センター いちされん	就労支援関係者
15	廣田 聖	福祉的就労担当者会議	就労支援関係者
16	植野 圭哉	障害者団体連絡会	障害者団体
17	木下 静男	障害者団体連絡会	障害者団体
18	田上 昌宏	障害者団体連絡会	障害者団体
19	西口 美恵子	障害者団体連絡会	障害者団体
20	谷藤 利子	障害者団体連絡会	障害者団体
21	飯作 吉民	障害者団体連絡会	障害者団体
22	山崎 泰介	社会福祉法人市川市社会福祉協議会	権利擁護・地域福祉関係者
23	堀江 弘孝	市川市民生委員児童委員協議会	権利擁護・地域福祉関係者
24	保戸塚 陽一	こども発達支援センターやわた	障害児支援関係者
25	川端 佐知子	須和田の丘支援学校	障害児支援関係者 (特別支援学校関係者)

就学前の障害児の発達支援の 無償化に係る方針について

厚生労働省社会・援護局
障害保健福祉部障害福祉課

障害児の発達支援に係る閣議決定事項等

○新しい経済政策パッケージ（平成29年12月8日）（抄）

1. 幼児教育の無償化

（具体的内容）

子育て世帯を応援し、社会保障を全世代型へ抜本的に変えるため、幼児教育の無償化を一気に加速する。広く国民が利用している3歳から5歳までの全ての児童の幼稚園、保育所、認定こども園の費用を無償化する。なお、子ども・子育て支援新制度の対象とならない幼稚園については、公平性の観点から、同制度における利用者負担額を上限として無償化する。（略）

（実施時期）

こうした幼児教育の無償化については、消費税率引上げの時期との関係で増収額に合わせて、2019年4月から一部をスタートし、2020年4月から全面的に実施する。また、就学前の障害児の発達支援（いわゆる障害児通園施設）についても、併せて無償化を進めていく。（略）

○経済財政運営と改革の基本方針2018（平成30年6月15日）（抄）

1. 人づくり革命の実現と拡大

（1）人材への投資

① 幼児教育の無償化

（略）

このほか、就学前の障害児の発達支援（いわゆる「障害児通園施設」）については、幼児教育の無償化と併せて無償化することが決定されているが、幼稚園、保育所及び認定こども園と障害児通園施設の両方を利用する場合は、両方とも無償化の対象とする。（略）

（実施時期）

無償化措置の対象を認可外保育施設にも広げることにより、地方自治体において、幼稚園の預かり保育や認可外保育施設の利用者に対する保育の必要性の認定に関する事務などが新たに生じることになることを踏まえ、無償化措置の実施時期については、2019年4月と2020年4月の段階的な実施ではなく、認可、認可外を問わず、3歳から5歳までの全ての児童及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の児童について、2019年10月からの全面的な無償化措置の実施を目指す。

○幼児教育・高等教育無償化の制度の具体化に向けた方針（平成30年12月28日）（抄）

4. 就学前の障害児の発達支援

○ 就学前の障害児の発達支援についても、併せて無償化を進める¹⁹。具体的には、満3歳になった後の最初の4月から小学校入学までの3年間を対象に、児童発達支援、医療型児童発達支援、居宅訪問型児童発達支援及び保育所等訪問支援を行う事業並びに福祉型障害児入所施設及び医療型障害児入所施設の利用料を無償化する²⁰。

また、幼稚園、保育所又は認定こども園とこれらの発達支援の両方を利用する場合は、ともに無償化の対象とする²¹。

19 就学前の障害児の発達支援の無償化に係る財源については、現行の障害児福祉サービスの制度と同様、一般財源とする。また、初年度に要する周知費用やシステム改修費について全額国費で負担する。

20 障害児入所施設は、入所している障害児に対し、日常生活の指導や知識技能の付与など、通所型の児童発達支援と同様の支援を行っていることから対象に含める。

また、基準該当児童発達支援事業所及び共生型の特例により指定を受けた児童発達支援事業所も対象とする。

21 認可外保育施設等と併用した場合も同様（認可外保育施設等については上限額あり）。

就学前の障害児の発達支援の無償化に係る方針について

(平成30年12月28日付け事務連絡)

1. 対象期間

満3歳になった後の最初の4月から小学校入学までの3年間

2. 対象施設

- ・児童発達支援事業所
- ・医療型児童発達支援事業所
- ・居宅訪問型児童発達支援事業所
- ・保育所等訪問支援事業所
- ・福祉型障害児入所施設
- ・医療型障害児入所施設

※幼稚園、保育所又は認定こども園と上記の発達支援を利用する場合は、ともに無償化する。

※障害児入所支援を行う指定発達支援医療機関についても対象とする。

※基準該当児童発達支援事業所及び共生型の特例により指定を受けた児童発達支援事業所も対象とする。

※措置による場合も無償化の対象とする。

3. 財政措置

- 就学前の障害児の発達支援の無償化については、現行の障害児通所給付費、障害児入所給付費等と同様に、消費税財源ではなく一般財源により対応。
- 障害児入所給付費等国庫負担金の算定に当たっては、障害児の発達支援の無償化に要する費用についても所要額に含めて交付申請を行う。
(国と地方の負担割合は、これまでと同様、障害児通所給付費：国1/2、都道府県1/4、市町村1/4、障害児入所給付費：国1/2、都道府県1/2)
- 初年度に要する周知費用及びシステムの改修経費については、別途、国庫補助を予定。

部会開催日：4/11,5/9

資料 2-1

(1) 連絡事項

- ・ 支援課新年度体制
 [委員]やまぶき園 三浦委員→近藤委員
 [事務局]主幹：池澤氏→野口氏 部会担当：宮嶋氏→夏見氏
- ・ えくる新年度体制及び相談対応分類について
- ・ H30 年度 計画進捗

	計画作成	セルフプラン	合計	
障害者	1,864	801	2,485	ほぼ横ばい
	67.8%	32.2%		
児童	188	894	1,082	セルフが増えている
	17.4%	82.6%		

- ・ 障がい児の発達支援の教育無償化に係わる方針について
 対象施設：放課後等デイサービス以外

(2) 相談支援部会関連会議からの報告 別紙参照

- ①市川障害児者相談支援事業所連絡会 (IS-net)
- ②権利擁護連絡会
- ③精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業
 明記されている事務局欄の市川保健所を抜く (側面的支援のため)
 ⇒県の事業なのに保健所が主体ではないのはおかしいのでは? という意見が上がった
 5/24 実務者会議予定
- ④高次脳機能障害児者サポート会議
 5/28 18:00～ 開催予定 事例検討、地域課題について
- ⑤拠点 WG
 5/13 開催予定

(3) 事例

団体連絡会 植野氏による事例提出
 他市ケース 4 事例

(3) 今年度の取組について

- ガイドライン改訂 7月までに改訂内容決定 11月中旬に完了予定
- ガイドライン研修
 日程 12/13 (金) ,1/17 (金) ,2/21 (金) 14:00～17:00 (会場：12-18)
 場所：全日警第3会議室
- ・ 虐待事例 (GSV 資料 No12,27 等)
- ・ 後見人と CM の役割分担について、保証人について (GSV 資料 No11,42 等)

- ・次回内容についての提案を行い7月までに内容決定

○今年度の取組

- ・分野横断連携（GSV 資料 No16,19,20 等）
- ・高齢障害者の福祉サービス・GH
 - * 市内の連絡会（地域包括ケアシステム）で“住まい”の部門にて障害者のニーズ課題も上げていく
 - * 65歳を過ぎてからの利用開始について
 - B型（働きたい人もいる）GH（入所を拒む人もいる）
 - ⇒次回の検討課題
 - * “共生サービス”相互乗り入れ可能なサービスをピックアップし検討、社会福祉審議会に提案してはどうか 市独自サービスの新設（福祉サービスのコストダウンになる）
- ・人材確保、相談支援体制整備に係わる取組
 - * 相談支援専門員の質（GSV 資料 No11,13,17,21,22,29,42,46,47,50,51 等）
サービス事業所対応：一度も連絡がない。計画書が届かない
公正中立：法人のサービス利用の圧 利用者の権利を守る
 - * 後見 促進法に伴う研修
 - * 相談支援専門員 増員検討 先進的な取組をしている地域の情報収集や視察など

○GSV 体制検討

昨年度より、受け皿に市川障害児者相談支援事業所連絡会（IS-net）を新たに加えることとなった

IS-net 活動報告

【幹事会】

1. 日時 : 平成31年 4月 19日 (木) 10:00~12:00

2. 場所 : 急病診療ふれあいセンター3F支援ルーム

3. 内容 : ①各担当より報告・連絡

②事務局より

・総会資料の内容について、事業報告、決算報告、事業計画案、予算案、等確認する。

・情報交換会について→障害者支援課職員から以下について情報提供の予定

①介護福祉サービスと障害福祉サービスの併給について

②相談支援事業の加算申請について

③会長より

・今年度で任期が終わる役員の後任について、保戸塚会長、近藤、三浦で次期幹事を選出する。
年末から年始にかけて令和2年度からの幹事については決定したい。

・GSVのスーパーバイザーとしてIS-netより参加してほしいと依頼あり。

7月までの参加者を決定する。8月以降の参加者については7月の幹事会で決定する。

4月25日(木) サンワーク 石原 5月16日(木) レンコン 田邊

5月23日(木) ACT 上田 6月27日(木) 福祉公社 内野

7月18日(木) リンク 佐藤 7月25日(木) CAN 市坪

(敬称略)

④その他

・就労継続支援B型事業所開設・・・NPO法人キルト・ビー
福祉の家 ビーふらっと

・定期総会・情報交換会 5月29日(水) 13:30~定期総会
14:15~情報交換会
市川市勤労福祉センター本館 2階会議室

・次回幹事会 7月19日(金) 10:00~12:00
急病診療ふれあいセンター3F支援ルーム

以上

1. 定例会報告

- ・日時 3月20日 午後1時から 全日警ホールにて
- ・参加者 社協後見相談担当室（山崎さん、伊達さん）、家族会
八幡学園 保戸塚さん
やまぶき園 三浦さん
- ・内容

① 成年後見利用促進法における新たな動きについて

- ・親族後見の見直し
親族後見の割合が3割を切っているが、今後は、親族後見を見直し、もっと認めていくという最高裁の方針。
- ・本人情報シートの作成
医師の診断書に加えて、「本人情報シート」（本人の生活状況をよく知る福祉関係者が記載することになっている）が裁判所に提出されるようになる。
- ・後見報酬額についても、最高裁が通知。見直しが検討される。

② 今後の連絡会家族会の活動について

- ・上記の動きに関連して、計画相談の担当者と後見を担う人との連携の必要性について話し合った。
- ・保戸塚さんから 主に未成年後見について
- ・三浦さんから やまぶき園における後見利用の実際について。（やまぶき園ではすでに25%の人が後見制度を利用している。）
- ・山崎さんから 本人情報シートの考え方など、新しい動きについての説明。
- ・今度の活動として
 - イ. 計画相談の担当者向けの後見に関する研修会（促進法とそれに伴う新たな動きについて）が実施できないか。実施の方法・時期などについては、相談支援部会に提案し、話し合うこととする。
 - ロ. 「計画相談と後見」など、本人・家族・それぞれの担当者による研修会の実施を考えていく。

2. 今後の予定

- ・次回定例会 5月30日（木）午後1時から 男女共同参画センターにて
主に、後見相談担当室より現況報告・後見セミナーの内容について
研修会に向けての話し合い 6月13日（木）午後1時から 全日警ホールにて
上記②のロについての話し合いを行う。 以上

令和元年 5 月 30 日 (木)
 第 1 回自立支援協議会資料
 (4 月、5 月相談支援部会報告分)

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業からの報告

平成 31 年度の計画 (案)

- ① 圏域内病院等を対象に退院ニーズ等のアンケートを実施
 ⇒地域移行支援の利用へとすぐにつなげられるケースだけでなく、退院ニーズのあるケースを広く把握出来る内容としたい
- ② アンケート結果をもとに、退院支援の具体的な検討
 ⇒支援開始時期や、担当をする機関など決め、病院へとさらなる聞き取りを行う
- ③ 退院ニーズに対して、地域の受け入れ資源調査
 ⇒安全な受け皿とは？どのような資源が必要なのか？どれだけ増やす必要があるのか？
- ④ その他の活動
 - ・中山病院の院内研修 毎年職員向けだが、入院患者向けにも企画したい
 ⇒長期入院の体験談を話せる当事者を活用
 - ・病院職員向けの地域の事業所見学会
 ⇒これまでは年 1 回 3 法人で開催
 回数増やしてほしいとの声もあり、年 2 回の実施も検討
 - ・『U & I 地域移行 (掘り起こし) プロジェクト』の再開準備
 ⇒基幹とサンワークの協同で行っていたが、内容の練り直しは必要
 - ・障害分野と介護分野 (高サポ) と地域移行支援の研修会

平成 31 年度 市川圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業
 年間予定 (案)

※事務局：サンワーク

回数	日程	内容	場所	構成メンバー	会議名
1	5/24 (金)	① ケアシステムについて行政説明 ② 市川圏域の事業計画、取組予定 ③ 退院ニーズアンケート内容の協議 (たたき台をもとに) ④ 事例紹介 (障害・介護併走ケースまたは 65 歳以	南八幡ワークス	県 市 障害 介護 病院、事業所 基幹、中核 ピアスタッフ	実務者会議 市川 浦安 (共同)

		上の地域移行支援のケース)			
2	8/	① 退院ニーズアンケート結果の共有 ② ケースの担当決め、ケース検討 ③ 受け入れ資源調査内容の検討	南八幡ワークス	市川市 障害 介護 病院、事業所 基幹、中核 ピアスタッフ	実務者会議 市川 (単独)
3	8/	① 退院ニーズアンケート結果の共有 ② ケースの担当決め、ケース検討 ③ 受け入れ資源調査内容の検討	浦安市ソーシャルサポートセンター	浦安市 障害 介護 病院、事業所 基幹、中核 ピアスタッフ	実務者会議 浦安 (単独)
4	11/	① 受け入れ資源の調査報告 ② 協議、部会への提案事項のまとめ ③ ケースの進捗状況について ④ 代表者会議の準備	南八幡ワークス	県 市 障害 介護 病院、事業所 基幹、中核 ピアスタッフ	実務者会議 市川 浦安 (共同)
5	2/	① 今年度の取り組みの報告 ② 来年度の取り組みの提案 ③ 全体協議	市川保健所	代表者会議構成員	代表者会議
6	3/	① 今年度の報告、まとめ ② 代表者会議の報告 ③ 来年度の事業計画(案)、取り組み予定 ④ ケースの進捗状況について	南八幡ワークス	県 市 障害 介護 病院、事業所 基幹、中核 ピアスタッフ	実務者会議 市川 浦安 (共同)

高次脳障害児・者サポート会議

開催：H31年 3月26日

1) 千葉リハ高次脳支援センタースタッフと地域の事業所による定例の事例検討

① 介護保険デイサービス事業所より

介護保険利用中の50代男性。

本人の日中活動、就労支援、家族支援などについて

2) GSVの課題について

①H30年度GSVの地域課題についての共有。

来年度の会議で取り組めそうなものの意見出しや確認

②2019年度は介護保険2号保険者のサービス情報収集や、事例提出のお願いなども検討していく。

次回は5月28日 18:30～ ふれあいセンター支援ルーム

相談したい事例については、障害者支援課に連絡をお願いします。

1. 部会

5月14日に、今年度第1回の生活支援部会を開催。

- ・障害者支援課よりレスパイト補助金についての説明
- ・拠点ワーキングチームの進捗状況の共有
- ・各会議、連絡会等からの報告

2. 各連絡会・会議等の活動報告

(1) 日中活動連絡会

例年通り、偶数月に開催予定。

昨年度、利用者（保護者）の高齢化のアンケート調査を行ったり、介護保険の勉強会を行ったりしているが、さらに一歩進んだ検討をしたい。共生型サービスも話題にあがっている。

(2) グループホーム（GH）等連絡協議会

- ・4月25日開催 第2回世話人交流会 「グループホームお悩み共有座談会」
悩みの意見交換を行った。GHの経営支援・食事支援・金銭管理・外部と如何に関わるか、など。
- ・6月に今年度の総会がある。管理者・サビ管の交流会予定。

(3) 居宅支援連絡会

幹事会を開催し、今年度の予定を検討する。人材確保についてが問題。

(4) 重心サポート会議

- ・どれみ♪ブックの改定をした。6月頃配布予定。
- ・研修会を3回開催する予定。
- ・お泊りどれみ♪を梨香園を借りて行う。
- ・今まで重心の方の人数把握ができてなかった。昨年県がアンケートをしたのでそれを基に、今年度把握したい。

3 地域生活支援拠点

ワーキングチームの話合いを月1回のペースで継続中。 → 議題 4

4. 人材確保のための自立支援協議会としての取り組みについて（提案）

過去には、生活支援部会の中で人材確保の取り組みを行ってきた経緯があるが、（千葉県福祉・介護人材確保対策事業補助金を利用したハートフルセミナーの開催、障害者週間に人材コーナーを設置等）、一時的ではなく継続的な取り組みにしていくためには、人材確保・定着に特化した場が必要と思われる。

以上

就労支援部会からの報告

○就労支援担当国会議今後の議題

1. 就労支援事業所説明会…内容検討、HW 合同面接会での場所確保
2. 雇用促進セミナー…障害者就業・生活支援センター 未達成企業相談会との
コラボレーション企画としても検討
3. 就労支援部会研修

※その他

意見の積み上げ…B 型アセスメント内容、支給決定基準の確認 & 意見交換会
情報共有…事例検討、求人情報、HW からのお知らせ 他

○福祉的就労担当国会議からの報告

今年度の議題について

1. お仕事情報の共有
2. 事業所ガイドブックの更新
3. 事例検討
4. 商工会議所会報にお仕事受注の広告依頼

令和元年度 こども部会と関連会議の日程について

1. こども部会

- | | | | |
|-----|------------------|---------|----------|
| 第一回 | 令和元年 10月 11日 (金) | 14時～16時 | 大洲ふれあい3階 |
| 第二回 | 令和2年 2月 7日 (金) | 同上 | 同上 |

2. 障害児支援連絡会

- | | | | |
|-----|-----------------|---------|----------|
| 第一回 | 令和元年 6月 28日 (金) | 10時～12時 | 大洲ふれあい2階 |
| 第二回 | 10月 4日 (金) | 同上 | 同上 |
| 第三回 | 令和2年 1月 17日 (金) | 同上 | 同上 |

3. 重心サポート会議 (医療的ケア児連絡会)

- | | | | |
|-----|-----------------|---------|----------|
| 第一回 | 令和元年 6月 27日 (木) | 19時～21時 | 大洲ふれあい3階 |
| 第二回 | 12月 12日 (木) | 同上 | 同上 |

平成 30 年 5 月 30 日

市川市障害者団体連絡会報告(第 1 回自立支援協議会資料)

【第4回定期総会及び第 1 回本会議】

日時：令和元年5月22日午後 1 時から午後 3 時

場所：急病診療・ふれあいセンター2階 集会室

参加者：構成21団体中(出席18団体、委任状2団体) 約40名参加

【第4回定期総会】

来賓挨拶

市川市長よりメッセージ(障がい者支援課野口主幹代読)

市川市自立支援協議会山崎会長、船橋市障害福祉団体連絡協議会平田会長

講話

市川市地域防災課立花課長 「大規模災害の経験を踏まえた市川市の防災対策について」

市川市危機管理課仙波課長 「女性の視点を活かした減災対策について」

議事

①平成30年度活動報告

②平成30年度決算報告

③監査報告

④令和元年度活動計画

・本会議予定

第1回本会議(5月22日)防災訓練について等

第2回本会議(9月18日)勉強会(内容は未定)、防災訓練報告

第3回本会議(11月13日)障害者週間について他

第4回本会議(2月26日)勉強会(内容は未定)振り返りと次年度計画

・役員会、4/26、6/21、8/2、10/4、1/17、3/13(10時～12時)を予定

・障害者週間への参加

・障害者団体紹介パンフの再版

⑤令和元年度予算

以上が承認された。

第1回本会議

①市川市総合防災訓練(8月25日)8時30分～13時 予定。

市川市立福栄中学校(メイン会場)・・・避難所開設訓練など

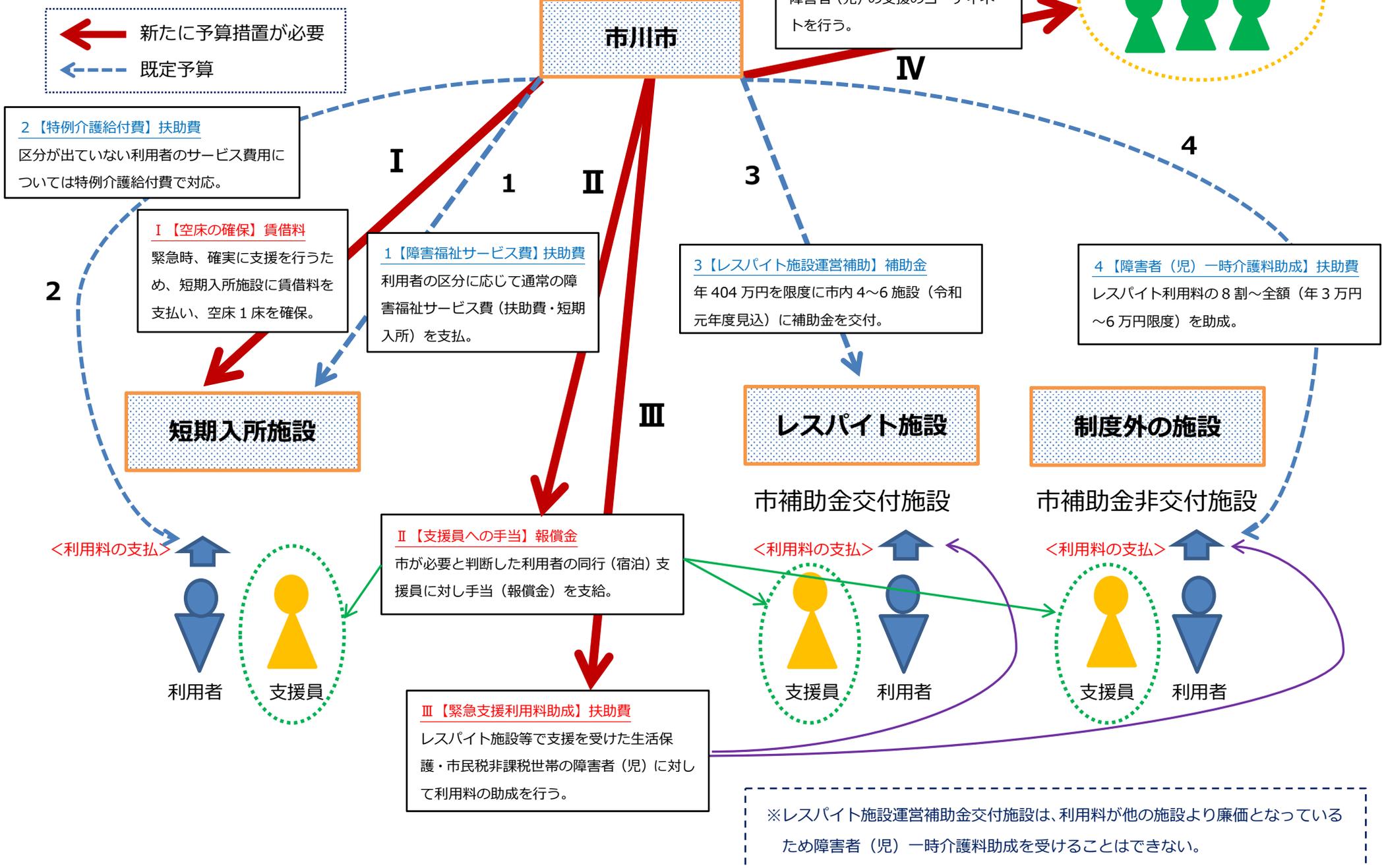
近隣福祉施設3か所・・・福祉避難所開設訓練、要配慮者搬送訓練など

広尾防災公園・・・医療救護所開設訓練など

②社会福祉審議会委員推薦について

以上

(仮称) 市川市在宅障害者(児)緊急支援事業の関連予算(案)



さとみ

No. 132

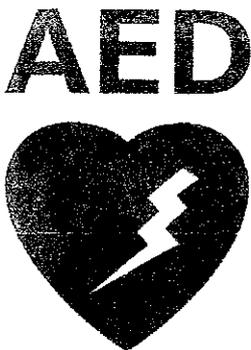


発行：市川市ろう者協会 発行人：浅野史行 編集：広報部
〒272-0023 市川市南八幡2-24-19 (朝香敬子方) 市川市ろう者協会事務局
FAX: 047-711-2265 mail: asahi0485@gmail.com

お知らせ

陽春デフサロンさとみ

平成31年度定期総会



★ 平成31年4月14日(日)
13:00~16:30 (受付時間:12:30~)

★ 全日警ホール(市川市八幡市民会館)
2階 第3会議室(全面)

〒272-0021 市川市八幡4-2-1
JR本八幡駅北口・都営新宿線本八幡駅から徒歩10分
京成線京成八幡駅から徒歩5分



13:00~14:15

陽春デフサロンさとみ 講演

テーマ「AEDの使用方法について」

講師 市川市消防局救急課

※ AED (自動体外式除細動器) とは、心臓が痙攣し、血液を流すポンプ機能を失った状態 (心室細動) になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

(25分休憩)

当日のご参加
大歓迎!

14:40~16:30

平成31年度 定期総会

参加
無料

※時間・内容を変更することがありますが、ご了承ください。

市川市ろう者協会の「陽春デフサロンさとみ & 平成31年度定期総会」を左記のように開催いたします。

どなたも傍聴できますので、多数の方のご出席をお待ちしております。(総会は、会員以外の方もオブザーバーとして出席になれます。議決権はありません。)

会員 (平成30年度会費納入者) の方には、総会資料と出欠はがきを同封いたしました。総会の成立には会員の過半数の出席 (委任出席を含む) が必要です。お手数ですが、総会資料に同封された出欠はがきにご記入の上、締切日までに当協会事務局までご返送ください。

なお、同封の総会資料を当日ご持参くださるよう、お願いいたします。

【お問合せ先】文化レク部長 大下晶 まで
お願いいたします。

FAX 047-372-3417

メールアドレス akira.ohshita@outlook.jp

課題だらけだった避難所訓練

～1月20日(日) 曾谷小学校体育館で実施～

1月20日(日)、障害者等の災害弱者を対象とした避難所訓練が曾谷小学校体育館・曾谷公民館で実施され、ろう協関係からは5名が参加しました。これは市川市の防災訓練の一環として、曾谷小学校区の自治会も協力して行われたものです。

市川市は毎年、防災の日(9月1日)の前後に総合防災訓練を実施しており、前半は大洲の防災公園での総合防災訓練、後半は市内各小学校区での避難所訓練を行っています。後半の避難所訓練については、曾谷小学校、信篤小学校などの一部の校区の自治会にも協力してもらって障害者や高齢者などの災害時要援護者を対象とした避難所訓練を行っていました。

1月20日の避難所訓練は、これまでの訓練の反省を元に、とくに災害時要援護者の受け入れのための窓口訓練に絞って実施したもので、当日の進行は右の通りでした；

①10:00～10:30
市の危機管理課・障害者支援課等の職員や障害者団体連絡会役員(介助者、手話通訳者、ろう協会長を含む)による事前打ち合わせ

②10:30～11:30
避難者に対する受付での対応訓練。「受付で避難者カードの記入～体育館の所定場所に集合し、諸注意等の伝達など」⇒災害勃発時を想定した、手話通訳を入れない状況における受付訓練

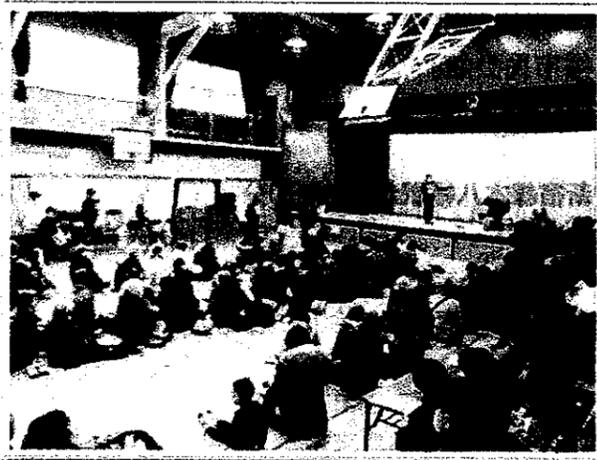
③11:30頃～12:25
避難所検証のヒアリング、参加者は機材組み立て訓練などへの参加

※①、③は手話通訳を配置する。②は実地訓練なので、本番を想定して手話通訳は入らない。



↑筆談は確実な意思疎通の手段

- ・当日は①～③が殆ど音声アナウンスだけで進められたため、いま何をやっているのか、次に何を始めるのかさっぱり分からなかった。
- ・ほかの障害者や高齢者等の避難者を含めて、視覚的な表示の必要性が理解されていない。事前に決まっている事項の確実な伝達のための模造紙の活用、筆談するために必要なA4用紙と筆記用具の用意、筆談ボードの準備はきちんとやってもらいたい。防災備品に加えておくべき。
- ・筆談します、手話が少しできますなど、ゼッケンや腕章をしている人がいれば、ろう者の安心感は非常に違う。
- ・障害の特性と各障害に応じた意思疎通の方法について、きちんと事前学習するなどしておいてほしい。



参加者の感想

・要配慮者席に「要配慮者支援班」のピブスをつけている人が座っていたがなにもしないで座っているだけでした。何をしたらいいのか知識というか、情報を持っていなかったと思う。

・3年前から参加してきたが、聴覚障害者に対する配慮は1mmも改善されていない。避難所訓練の状況に深い失望を感じている。
・配慮とは、情報収集・提供面での改善を図ること。情報を確保すれば、ほかの被災者と一緒にスムーズに訓練を実施することができると思います。

大好評だった「冬季デフサロンさとみ」

日時 平成31年1月27日(日) 14:00～16:30 場所 市川公民館 3階視聴覚室

内容 講演①「荒川区・手話通訳のサービスについて」
講師 荒川区聴覚障害者協会副会長&総務部 寺澤 泰史氏

講演②「手話通訳リレーサービスと千葉聴覚障害者センター」のよもやま話
講師 社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会理事長 植野 圭 哉氏

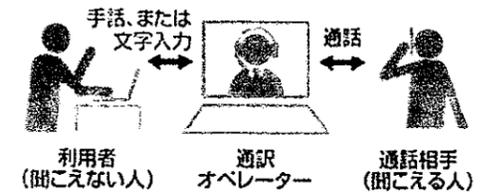


冬季デフサロンさとみでは標記の2つの講演を行いました。

①は、荒川区で平成30年4月から始まった聴覚障害者向けの窓口支援(遠隔手話通訳・筆談・音声認識)と電話代行サービス(電話リレーサービス)がテーマの講演です。窓口支援とは、区役所障害福祉課などの窓口タブレット端末が置いてあり、テレビ電話による遠隔手話通訳や音声認識システム・筆談による情報支援を行うもので、電話代行サービスとは聴覚障害者が自分のスマートフォン等のテレビ電話機能を使い、通訳コールセンターを介して電話をかける仕組みです。両サービスのイメージは、下図(左は荒川区のホームページより)のようものです。

両サービスとも、聴覚障害者の意思疎通支援の選択幅を広げる便利な仕組みのように思われますが、設置・派遣通訳サービスの縮小や廃止(人件費節減)にもつながりかねないことや、通訳コールセンターの通訳の質が保障されるかについての懸念もぬぐいきれません。行政のこうした動きについては不断の注意が必要です。

電話リレーサービスの仕組み



ろう協新年会に村越市長・千葉顧問もご来席



1月27日のデフサロンさとみ終了後、市川公民館すぐ近くの居酒屋「波波」を会場にして当協会の新年会が行われ、33名が参加しました。

新年会には村越市長、千葉顧問にもご来席いただき、短い時間でしたが充実した新年会となりました。

市長、千葉顧問からは市川市に手話言語条例はぜひ必要であり、実現に頑張るとの心強いお言葉をいただきました。

手話言語条例制定、意思疎通支援事業に関するモデル実施要綱の改正に関して、来年度はろう協としての取り組みが問われることとなります。

平成30年度後援会 2月2日(日)実施 【報告:百瀬由紀子】

「第3回 総武ブロック一斉街頭カンパ活動」報告

募金額 106,845円

☆参加人数:延べ66名
(うち市川市は、9名)



【京成線八千代台駅】
ろう者:2名 輪の会:4名
【東葉高速線八千代緑が丘駅】
ろう者:1名 輪の会:2名



2月2日(土)の10時~14時まで、京成線八千代台駅と東葉高速線八千代緑が丘駅にて「社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会 後援会 総武ブロック一斉街頭カンパ活動」を行いました。

当日は、総武ブロックの各市から約66名が集まり、各市の希望の駅によって振り分けられたとおり、京成線八千代台駅西口、東口、エルム前の3ヶ所と東葉高速線八千代緑が丘駅南口のイオン側に分かれてカンパ活動を行いました。



八千代台駅では、「市川市・八千代市」グループは西口、「習志野市・八千代市」グループは東口、「船橋市・八千代市」グループはエルム前に分かれてカンパ活動を行いました。八千代緑が丘駅では、北口【シネマ館・レストラン街側】は地震耐震補強工事中の為、南口【イオン側】にて各市(市川市・鎌ヶ谷市・船橋市・八千代市)一緒にカンパ活動を行いました。

八千代緑が丘駅イオン側通路では、相変わらず、多くの人が入り出りした為、多くの家族連れや若者や高齢者や中学・高校生たちが募金に応じてくれました。

しかし、同じ通路の左側に別の団体(ユニセフ)の募金活動や右側に新築マンション案内のティッシュ配りする人達がいた為、カンパ活動がちょっとやりにくいところがあったが、ろう者と健聴者が共に頑張って活動したおかげで、多くの方が募金に応じてくれました。

当日は、寒さや冷たい風もなく穏やかな好い天気の中、カンパ活動に協力して下さった皆様、本当にありがとうございました。

訃報

西内 勝 様(元:市川市手話サークル「輪の会」会長)

平成30年10月27日にご逝去されました。(享年75歳)

当会の請願書を行政に提出した時、大変ご協力いただいたり、ろう重複障害者の為にかんぱ活動などいろいろなことをご尽力いただきました。

心より感謝申し上げますと共に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



北島 祐子 様(市川市役所 障害者支援課 設置手話通訳者)

平成30年12月5日にご逝去されました。(享年59歳)

長年、行政との懸け橋をいただき、聴覚障害者に対する理解も深く、相談等、いろいろなことをご尽力いただきました。心より感謝申し上げますと共に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

市川市4団体合同日帰りツアー

平成30年12月2日(日)

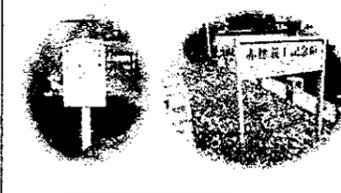
場所:東京都港区高輪(泉岳寺)⇒中央区築地⇒墨田区横川(本所防災館)

参加人数:28名(市ろう協会8名、輪の会11名、汐風1名、受講生8名)



泉岳寺の境内

泉岳寺では「赤穂義士」と呼んでいる墓。泉岳寺にある本堂、山門・中門梵鐘・鐘楼堂、大石内蔵助吉雄銅像、主税梅、血染めの梅・血染めの石、首洗い井戸、赤穂義士記念館を展覧しました。



「東京盲啞学校発祥の地、日本点字制定の地」記念碑

筑波大学附属視覚特別支援学校(盲学校)と同聴覚特別支援学校(聾学校)の前身は、1880(明治13)年、この築地に楽善会訓盲院として開校。訓盲院はまもなく訓盲啞院となり、文部省の直轄学校となり、1887(明治20)年には東京盲啞学校と改称。この東京盲啞学校で1890(明治23)年に日本点字が創られました。2010年は授業開始130年、点字制定120年にもあたっています。

両校の同窓生・旧職員ら関係者の間には、長年この学校発祥の地に記念碑が欲しいという強い願いがありました。この記念すべき年にやっと実現しました。



【参加者の感想】①

カレンダーも最後の一枚となったところ、日帰りツアーに参加し、皆様との交流を深める事ができました。

泉岳寺は歴史の深いところであり、今まではドラマで知った情報より知らなかった事を知る事ができ、勉強になりました。移転後の築地に行き、東京盲啞学校が昔建てられていたところがあったのはびっくりしました。最後に防災といえば、台風、大地震等、いつ発生するかわからない状況なので、改めて知識を深めて災害発生時に災害弱者にならないようにどのようにすべきか考えることが必要だと実感しました。

【SOSHI】

【参加者の感想】②

素敵な出会いがありました。築地本願寺で、お参りをしようと本堂に入った時です。Kさんが、パンフレットを見つけた瞬間、慌ててこちらへ向かってきました。そこに書いてあったのは、「手話で表す仏教用語」。まさかお寺で手話に関するものを見つけるとは！と驚いていると、Kさんは早速、もう何部かいただけないと、お寺の住職さんに交渉しに行きました。

しばらくして、Kさんが男性を連れて戻ってきました。男性はなんと、そのパンフレットを作ったというではありませんか！「聴覚に障がいをもつ方がたと、ともに仏法に出遭い聴聞の喜びを分かち合いたい」※という思いで作られたとのこと。

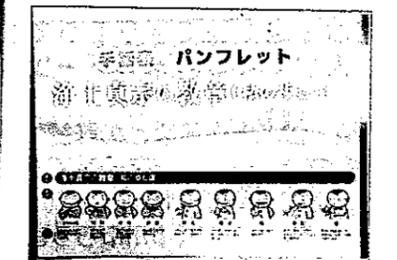
仏教用語という難しい言葉が多いイメージですが、手話表現にするという意味が理解しやすいと感じました。お寺への参拝者が、このパンフレットをきっかけに手話を知ったり、興味を持ったりする姿を思い浮かべながら、お出掛けをされると出会いや発見があっていいなと改めて思った私でした。来年もぜひ参加したいです^_^ S・Mより

※「手話で表す仏教用語」

浄土真宗本願寺派 社会部、2011年3月31日 より引用。



本所防災館にて



「手話で表す仏教用語」パンフレット



首都圏の水ガメで憩いの場である
江戸川をきれいにしよう

江戸川クリーン大作戦に参加しませんか

市川市では今年も環境美化事業の一環として、多数の市民団体の協力を得て、江戸川河川敷に散乱する空き缶や紙くず等の拾集を実施します。当協会も団体で参加しますので、当日ご協力くださる方を募ります。多数の方のご応募をお待ちしています。

■：平成31年 **6月1日(土)** 午前9時から1時間程度

(1)集合時刻：午前8時50分

(2)集合場所：江戸川の根本排水機場（京成電鉄「国府台駅」徒歩3分）
（水色ののぼり旗を目印にお集まりください。）

■内容：江戸川河川敷に散乱する空き缶や紙くず等の拾集

■拾集場所：江戸川河川敷（根本水門の上下流の河川敷を清掃します。）

■参加申込・問合せ：井上雅博（市川市ろう者協会理事）

FAX 047-371-2766

携帯メールアドレス olympiays-11ana@softbank.ne.jp

■申込期限：平成31年4月27日(土)

※参加者の軍手の数を市に連絡しますので、期限までにお申込みください。

■用意するもの：熱中病予防のための帽子、水筒、タオル、火ばさみ、マスク、ゴーグルなど
※軍手とごみ袋はこちらで用意します。（市川市から支給）

今回は5月でなく6月
です。日曜日から土曜
日に変わりました！

当日飛び込み参加
でも大歓迎！！

第37回東葛飾地区聴覚障害者 スポーツ交流会

●開催日：6月1日(土)

午前9時～午後5時

●会場：習志野市東部体育館

●競技の内容：ヘルスパレーボール

ヘルスパレーボール公式ボールの形状は楕円形で長径約90cm、短径約50cm。空気で膨らませたビニールボールを布で覆っています。

このボールの形状が予測不能？な動きをし、本来のパレーボールとは一味違った面白さを体験できるそうです。子供から老人まで楽しめるスポーツです。

参加資格・参加申込日などの詳細は、分かり次第、定期総会の時、チラシ配布予定です。多数の方のご応募をお待ちしています。

【市川市ろう者協会 文化レク部】

バーベキュー交流会

当会の行事として、今年で3回目になります。

日時：平成31年5月26日(日)
場所：大洲防災公園ピクニック広場

詳細は定期総会の時、チラシ配布予定です。多数の方のご参加をお待ちしています。

BQQ交流会実行委員会

ピア・カウンセリング市川(3月～6月)

平成31年度も 市役所仮本庁舎 障害者支援課 で実施します！

「ピアカウンセリング」とは、同じ障害を持った人が仲間（ピア）として相談を受け、自らの経験をもとにアドバイスしたり、一緒に考えたりします。

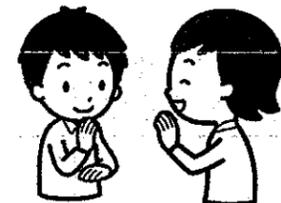
日時：月2回、第2火曜日・第4火曜日 午前10時～12時（場所：市役所仮本庁舎 2階）
平成31年 3月26日、4月9日、4月23日、
5月14日、5月28日、6月11日、6月25日
カウンセラー：植野 都

※ご希望の方は、事前にご予約くださるようお願いいたします。

予約連絡先：障害者支援課（平成29年5月8日からFAX番号が変わりました）
FAX 047-712-8727（☎ 047-334-1111）

相談内容：教育（親子）、人間関係、職業、健康、介護、医療、結婚、離婚、出産、子育て、コミュニケーション等、気になること、悩んでいることなどをお気軽にご相談下さい。

相談内容の秘密は絶対に守りますので、安心して一緒にお茶でも飲みながら、お話しませんか。



【市川市からのお知らせ】

手話通訳・要約筆記の派遣を依頼するときは、障害者支援課へ

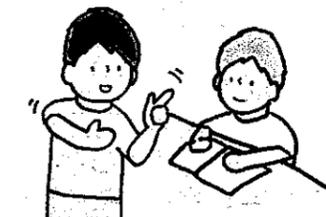
市川市の「手話通訳者・要約筆記者派遣事業」は、市役所仮本庁舎「障害者支援課」で行っています。

手話通訳・要約筆記の派遣を依頼するときは、障害者支援課にご連絡ください。

連絡先 FAX：047(712)8727（平成29年5月8日から変わりました）
電話：047(334)1111

受付時間 月曜日～金曜日 午前8時40分～午後5時00分
（土・日・祝祭日・年末年始はお休みとなります）

申請方法 FAX・窓口での申請をお願いいたします。
派遣時間 午前8時～午後10時まで
費用 無 料



不明な点がございましたら、市川市役所仮本庁舎 障害者支援課までご連絡をお願いいたします。

■連絡先 市川市役所仮本庁舎 障害者支援課
（平成29年5月8日から変わりました）

FAX：047(712)8727 障害者支援課直通
電話：047(334)1111 市川市役所仮本庁舎（電話番号変更ありません）
担当（手話通訳者 奥山/松岡(月～金)、要約筆記者 金田(月・木)）まで

会員募集中!

ぜひ



平成29年度 会員数 63名
平成30年度 会員数 64名
ありがとうございました!

市川市ろう者協会にご入会ください!

会費のご説明

31年度もぜひ会員継続をお願いいたします。

- ◆市川市ろう者協会の会費：単独会費2,000円、夫婦会費3,000円
- ◆(社福)千葉県聴覚障害者協会の会費：1名につき15,000円<減免制度あり。下記参照>
- ◆会費は市会費・県会費の一括納入をお願いしています。31年度もぜひ一括納入にご協力ください。
<市川市ろう者協会のみ入会の場合の会費は5,000円です。(市外のろう者のみに適用)>
- ◆千葉県協会体育部会員(全国ろうあ者体育大会、関東ろう者体育大会に参加希望の方)の会費は、必ず市川市ろう者協会を経由して納入することになっています。ご協力ください。

<減免制度適用後の会費(実際の納入額、1年分)>

(社福)千葉県聴覚障害者協会会費	15,000円/1名				
一人または一組の 県協会会費 <実際の納入額>	減免額		高齢者:2,000円/1名 夫婦:2,000円/1組(夫婦の場合1名につき1,000円減額)		
	会員	高齢者	夫婦	夫婦の一方のみ高齢者	夫婦ともに 高齢者
	15,000円	13,000円	28,000円	27,000円	26,000円
市川市ろう者協会	2,000円	2,000円	3,000円	3,000円	3,000円
合計の納入額	17,000円	15,000円	31,000円	30,000円	29,000円

※県協会会費(1名分)には、下記の登録料が含まれています:

全日本ろうあ連盟登録料:2,500円 関東ろう連盟登録料:500円

■会費お払い込みの方法(3通りあります。)

①郵便局備え付けの振替用紙をご使用の場合

口座加入者名:市川市ろう者協会

口座番号:00140-9-151023

②他金融機関(銀行など)からのお振り込みの場合

振込用口座番号:〇一九(ゼロイチキョウ)店(019) 当座 0151023

※①②をご利用の場合、申し訳ありませんが、手数料をご負担くださるよう、お願いします。

③当協会理事に会費を直接お預けになる場合、まずは下記宛にお問い合わせください。

市川市ろう者協会 会計部 会費等集金担当 立本和子 FAX 047-396-4727

市川市ろう者協会 月例理事会

開催日:毎月第1金曜 19時~21時 会場:市川公民館 2階 第1会議室

傍聴大歓迎!

当協会に関するお問い合わせは、下記宛にお願いします:

市川市ろう者協会事務局(朝香敬子)

FAX:047-711-2265

mail:asahi0485@gmail.com

市川市ろう者協会会報 さとみ第132号

平成31年3月23日発行

発行人 浅野史行 編集人 広報部

発行 市川市ろう者協会